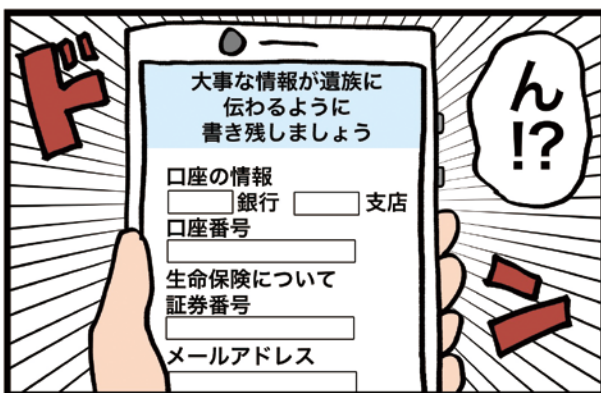


IT日和

イラスト 山本コウカ

vol.39 エンディングノート



App Store アプリのお知らせ

アプリをダウンロードすると iPad, iPhone, iPod Touch といった iOS 端末から読むことができます！



ダウンロード無料
情報処理学会

アプリのダウンロードはこちら（無料）



情報処理学会 会員募集中!!

ITに関する最新情報や研究発表の場の提供を通じて、あなたのお役に立ちます



詳しくは <https://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

お問合せ

一般社団法人 情報処理学会 会員サービス部門
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
Tel.(03)3518-8370 Fax.(03)3518-8375 mem@ipsj.or.jp

情報処理学会デジタルプラクティス 特集号論文募集

「ディープラーニングのプラクティス」

● ● ▶ [投稿締切] 2018年8月6日(月) 17:00 ◀ ● ●

現在の第3次人工知能ブームを牽引しているのは機械学習技術の発展だと言われます。特に、この10年の間に大規模なニューラルネットワークによるパターン認識・機械学習技術、いわゆるディープラーニング（Deep Learning: 深層学習）が急速に進展しました。画像・音声の認識、将棋・囲碁などのゲームでは、人間と同程度、あるいは、それ以上の性能を持つまでになりました。その応用分野も急速に広がっています。

さらに、ディープラーニング技術のインパクトは、パターン認識・機械学習の飛躍的な精度向上にとどまらず、問題の解き方やアプリケーション構造の刷新、研究開発とビジネス運営のフォーメーションの変革などにも波及しています。例えば、ディープラーニングによって、入力から出力までの様々な構成要素から成る処理の End-to-End 最適化が可能になり、個々の構成要素をチューニングして組み上げる従来のアプローチが置き換えられるようになってきています。また、研究成果を事業部門に渡すシーズアウト型のビジネス開発体制は古い時代のものとなり、ディープラーニングの最先端の技術・ビジネスは、研究開発とビジネスが一体となった現場とリアルデータから生まれています。

したがって、ディープラーニングの技術進化（日々多数の技術論文が発表されています）の一方で、ディープラーニング技術を用いたソリューション、リアルな問題解決、ビジネスにおいては、上述のような様々な刷新・変革への取り組みがなされてきていることでしょう。

そこで、本特集号では、ディープラーニング技術を活用したソリューション、リアルな問題解決、ビジネスなどの実践事例に関する投稿論文を募集します。その実践事例を通して、著者自身が得た有用な知見や、刷新・変革への取り組みにおけるプラクティスなどが共有されることを目的とします。

活発な投稿をお待ちしています。

[投稿を期待する論文]

- ・ディープラーニング技術を活用したソリューション、リアルな問題解決、ビジネスなどの実践事例に関する論文

[実践から得た知見・プラクティスの例]

(下記は一例であって、これらに限定するものではありません)

- ・ディープラーニング技術の適用によって、問題の解き方やアプリケーション構造がどのように刷新され、どのような効果（場合によっては副作用）を生んだか
- ・ディープラーニング技術（ブラックボックスで解釈性や品質保証に課題があると言われる）を活用したソリューションやビジネスの開発・運営において、顧客・ユーザーの理解や満足度を高める方法
- ・ディープラーニングの研究開発とビジネス運営のフォーメーション、あるいは、ビジネスモデルを従来型からどのように変革したか
- ・ディープラーニングの精度や問題解決の達成度を左右する学習データの量・質をどのように確保したか

なお、デジタルプラクティス論文誌 Vol.8, No.2 「社会に浸透する画像認識」特集号（2017年4月発行）に掲載された座談会記事「画像認識応用におけるディープラーニングのインパクト」で、関連する議論が取り上げられています。本トピックにご興味のある方は、こちらの特集号・座談会記事もご覧ください。



※投稿要領：Web サイトをご覧ください→ <https://www.ipsj.or.jp/dp/cfp/dp1002s.html>（応募資格は問いません）

※掲載号：2019年4月号（Vol.10 No.2）

※特集エディタ：篠田浩一（東京工業大学）、福島俊一（科学技術振興機構）、今原修一郎（東芝）

※特集号編集委員：編集委員長：吉野松樹（日立）

編集委員：荒木拓也（日本電気）、飯村結香子（NTT）、位野木万里（工学院大学）、今原修一郎（東芝）、大嶋嘉人（NTT）、鬼塚真（大阪大学）、上條浩一（日本IBM）、北村操代（三菱電機）、齋藤正史（金沢工業大学）、澤谷由里子（東京工科大学）、澤邊知子（日本大学）、柴崎辰彦（富士通）、新田清（ヤフー）、濱崎雅弘（産業技術総合研究所）、平井千秋（日立製作所）、平林元明（日立製作所）、福島俊一（科学技術振興機構）、藤瀬哲朗（三菱総研）、藤原陽子（レノボ・エンタープライズ・ソリューションズ）、細野繁（日本電気）、茂木強（科学技術振興機構）、アドバイザー：喜連川い優（国立情報学研究所・東京大学）

名誉会員の紹介

第624回理事会（2018年1月）の議を経て、下記の方が2018年度定時総会（2018年6月6日）において名誉会員に推挙されました。
（記載は会員番号順）



山田 昭彦 君

や ま だ あ き ひ こ

1959年3月	大阪大学工学部通信工学科卒業
1959年4月	日本電気株式会社入社
1980年1月	工学博士（大阪大学）
1997年4月	東京都立大学工学部電子・情報工学科 教授
2000年4月	国立科学博物館 産業技術史資料調査 主任調査員
2003年4月	東京電機大学大学院 理工学研究科情報システム工学専攻 特別専任教授
2008年4月	サイバー大学 IT 総合学部 客員教授
2013年4月	国立科学博物館 産業技術史資料情報センター 主任調査員

本会関係略歴

- (1) 1960年4月入会
- (2) 理事（1988年度～1989年度）
- (3) 会誌編集委員会委員長（1988年度～1989年度）
- (4) 電子装置設計技術研究会主査（1981年度）
- (5) 調査運営委員会委員（1981年度～1983年度）
- (6) 設計自動化研究会主査（1982年度～1983年度）
- (7) 国際委員会委員（1986年度～1997年度）
- (8) 国際業務委員会委員（1997年度～2011年度）
- (9) 創立30周年記念国際会議運営委員会委員（1988年度～1990年度）
- (10) 歴史特別委員会委員（2000年度～2014年度）
- (11) コンピュータ博物館実行小委員会委員（2001年度～2014年度）
- (12) オーラルヒストリー小委員会主査（2006年度～2014年度）
- (13) 卓越技術DB小委員会委員（2006年度～2009年度）
- (14) 2002年度フェロー
- (15) 2008年度功績賞



都 倉 信 樹 君

と くら の ぶ き

1968年3月	大阪大学大学院工学研究科電子工学専攻博士課程修了
1968年4月	大阪大学基礎工学部 講師
1969年9月	大阪大学基礎工学部 助教授
1977年2月	大阪大学基礎工学部 教授
2001年4月	鳥取環境大学環境情報学部 教授（副学長等兼任）
2008年4月～2012年3月	大阪電気通信大学 学長
1986年4月～2004年9月	放送大学客員 教授（情報工学等6本のTV講義）

本会関係略歴

- (1) 1970年4月入会
- (2) 会誌編集委員会委員（1982年～1983年）
- (3) 調査研究運営委員会委員（1997年度）
- (4) 情報処理教育委員会委員長（1998年度）
- (5) アクレディテーション委員会副委員長／幹事（1998年～2005年）
- (6) 情報教育ソフトウェア小委員会委員（1999年～2001年）
- (7) 情報システム委員会委員（1999年～2012年）
- (8) 理事（2002年度～2003年度）
- (9) 1999年度フェロー
- (10) 2001年度功績賞

2017年度功績賞

功績賞は、情報処理に関する学術または関連事業に対し特別の功労があり、その功績が顕著な会員に贈呈されます。

本年度の受賞者は関連規程に基づき、第625回理事会（2018年3月）の議を経て、下記の3君に決定され2018年度定時総会（2018年6月6日）において、賞状および賞牌が授与されました。（記載は会員番号順）



岡田 謙一 君
おかだ けんいち

本会正会員岡田謙一君（フェロー）は、30年以上にわたり、ヒューマン・コンピュータ・インタラクションの研究に一貫して携わってこられました。1990年頃から計算機による協調作業支援（CSCW）の研究を積極的に進められ、この分野の先駆者の一人として知られています。1993年に世界で初めて、会議参加者の等身大のビデオ画像を用いて視線一致を可能とする多地点遠隔会議システムMAJICの開発に成功されました。遠隔協調作業支援における視線アウェアネスや非言語コミュニケーションの重要性を示した研究成果は高く評価されており、この分野で最も権威がある国際会議ACM CSCWに日本人としては4人目に論文が採択されています。非同期型協調作業支援に関しては、電子商取引を活発にするために異種のワークフローを結ぶインターワークフローの概念を提唱され、2つの商用ワークフロー管理システムによるインターワークフローシステムを世界で初めて開発されました。また、遠隔コミュニケーションの臨場感における五感情報、中でも嗅覚情報の役割に注目され、2000年に当時きわめて斬

新だった嗅覚ディスプレイを開発され、香りメディア処理の可能性を示されました。同君はこれらの優れた研究成果により、本会論文賞（1996年・2001年・2008年）、創立40周年記念論文賞、日本バーチャルリアリティ学会サイバースペース研究賞を受賞されました。

同君は、関連分野の発展と学会活動の活性化に対しても多くの貢献をされました。本会グループウェア研究グループの設立に携われ、その後、グループウェア研究会主査（1997年～2001年）として先導されました。ほかにもモバイルコンピューティング・放送コンピューティングの各研究グループの設立に幹事として尽力されるなど、新たな研究分野の立ち上げと後進の育成に力を注がれました。また、本会会誌編集委員会AWG主査（1994年～1995年）、論文誌編集委員会応用グループ主査（2000年）、情報環境領域委員長（2009年～2011年）、理事（2010年度～2011年度）、監事（2015年度～2016年度）などを歴任されました。さらに、IEEE ICDCS'04、IFIP INTEACT'01、ACM CSCW'98などの国際会議の大会委員長、プログラム委員長を務めるなど、当該学術分野の発展に大きく貢献されました。

以上のように、同君が、情報処理分野ならびに本会の発展に尽くした功績は、まことに顕著であります。



安浦 寛人 君
やすうら ひろと

本会正会員安浦寛人君（フェロー）は、永年にわたり、システムLSIの設計に関する基礎理論と設計支援技術の研究に従事されるとともに、情報技術に基づく新しい社会システムの構築論を展開され、ICカード学生証、BYODなどの新しい情報技術を大学運営に先駆けて導入されるなど、多岐にわたって情報科学・技術に多大な貢献をされました。

研究においては、低消費電力化設計に関して可変電源電圧プロセッサの基本原則を提案し、この分野で世界的に非常に多く引用される論文を著されています。産学連携に関しては、文部科学省知的クラスター創成事業・福岡拠点の研究統括を務められ、先端LSI開発拠点「シリコンベルト福岡構想」を展開されました。これらの業績は、本会論文賞、坂井記念特別賞、Best Author賞、電子情報通信学会業績賞、同論文賞、産学官連携功労者表彰文部科学大臣賞等によって高く評価されています。

本会においては、理事（1999年度～2000年度）、論文誌編集委員会委員長（2000年度）等を歴任され、本会フェローの称号を授与されています。また、日本学術会議会員、公益財団法人福岡アジア都市研究所の理事長等として情報技術に基づく新しい社会システムの展開についても尽力されています。さらには、大学の情報化に関しても大きく貢献されており、大学ICT推進協議会初代会長として、協議会発足の中心的役割を担い、全国の高等教育・学術研究機関におけるICTを利用した教育・研究・経営の高度化を推進されました。

人材育成という点でも、福岡システムLSIカレッジ校長を務められ、また、JST さきがけ研究総括として情報科学分野の若手研

究者育成に尽力されています。国際的にも、IEEE Circuit and System Society Vice President 等として活躍され、国際連携にも貢献されています。

以上のように、同君が、我が国のみならず世界的な情報処理分野の発展に多大なる貢献をするとともに本会の活動の発展に尽力した功績は、まことに顕著であります。



富田 達夫 君

とみた たつお

本会正会員富田達夫君は、永年にわたり、現在の情報処理の主流となっているサーバ、周辺機、携帯端末等のシステムプラットフォームの事業に携わってこられました。1973年富士通株式会社に入社されて以来、IT関連の幅広い製品開発に従事され、ミッションクリティカル領域から携帯電話事業等のコンシューマー領域の立上げ・拡大まで、同社の全プロダクト事業を統括し、経営幹部として大きく寄与されました。また、富士通研究所の社長・会長として、自ら製品を世界中に送り出してきた経験から、情報処理に関するさまざまな研究成果を発表してこられました。

また、産業界における公職として、産業競争力懇談会実行委員会委員（2011年～2016年）、日本経済団体連合会の産業技術委員会企画部会委員（2010年～2016年）、日本学術振興会協力会評議員（2012年～2016年）等を務められ、政財界の有識者と情報処理技術の発展、日本の産業競争力の強化に向けた活動に貢献されました。技術者教育においても、日本技術者教育認定機構（JABEE）委員等（2014年～2015年）、本会歴史特別委員会（2014年～2015年）で技術人材の育成や表彰に貢献されました。そして、情報処理推進機構理事長（2016年～）として、すべての国民がITによる利便性を享受できる社会づくりを目指して、情報セキュリティやIT人材育成に関する国の施策実施に多大な貢献をされています。

本会においては、会長（2015年～2016年）として、これまで推進してきた本会の抜本的改革を継続しながら、本会の価値向上のための新たな活動を開始しました。将来における本会のあるべき姿を提言としてまとめた上で、ジュニア会員向けの施策の強化や初中等教育向け情報教育支援を通じて本会が日本の成長に資する役割を拡大しました。また、産業界における学会の役割を拡大する認定情報技術者制度（CITP）の運営や、若手研究者と企業マッチングサービス等を通じて、本会が社会に提供する価値拡大に寄与しました。これらの取り組みと合わせて、会員サービス向上を目指した学会システムの改版を企画し、将来的な視点から正会員会費の改訂を行う等、本会のさらなる社会貢献と継続的な発展にむけて積極的に取り組みました。

以上のように、同君が、我が国の情報通信産業に関する振興と技術者教育、ならびに本会の発展に尽くした功績は、まことに顕著であります。

各賞表彰等(概要)

詳細は Web サイト (https://www.ipsj.or.jp/award/sho_index.html) をご覧ください

2017 年度論文賞の表彰

本賞の選考は、表彰規程および論文賞受賞候補者選定手続きに基づき、論文賞委員会(委員長 柴山悦哉)が、対象論文 589 編*につき慎重に審議を行いました。その結果、下記の 6 編が受賞候補論文として選定され、理事会承認(2018 年 3 月 23 日付、定款上の理事会決議の省略手続きによる)を得て決定されました。なお、本会表彰規程により、2018 年度定時総会(2018 年 6 月)において著者に表彰状、賞牌および賞金が授与されました。

* 選考を行ったのは「論文誌ジャーナル」「Journal of Information Processing」「論文誌 数値モデル化と応用」「論文誌 データベース」の 4 誌です。以下 8 誌については対象論文がそれぞれ 50 編に満たないため、論文賞選定は翌年以降に持ち越すこととしました。「論文誌 プログラミング」「論文誌 コンピューティングシステム」「論文誌 コンシューマ・デバイス&システム」「論文誌 デジタルコンテンツ」「論文誌 教育とコンピュータ」「Transactions on Bioinformatics」「Transactions on System LSI Design Methodology」「Transactions on Computer Vision and Applications」

【情報処理学会論文賞】

○「直近移動能力を考慮した車椅子操作推定モデル」

[情報処理学会論文誌 Vol.57, No.10, pp.2316-2326 (2016)]

宮田 章裕 君(正会員) 伊勢崎隆司 君
中野 将尚 君 石原 達也 君
有賀 玲子 君(正会員) 望月 崇由 君
渡部 智樹 君(正会員) 水野 理 君

○「Toolification of Games: 既存ゲームの余剰自由度の中で非ゲーム的目的を達成するゲーミフィケーション周辺概念の提案と検討」

[情報処理学会論文誌 Vol.58, No.4, pp.919-931 (2017)]

栗原 一貴 君(正会員)

○「改版履歴の分析に基づく変更支援手法における時間的近接性の考慮と同一作業コミットの統合による影響」

[情報処理学会論文誌 Vol.58, No.4, pp.807-817 (2017)]

森 達也 君 アンダース ハグワード 君
小林 隆志 君(正会員)

○「鉱山用重機間通信による周辺重機検出手法の提案」

[情報処理学会論文誌 Vol.58, No.1, pp.68-78 (2017)]

長船 辰昭 君 西村 友佑 君(学生会員)
加藤 聖也 君 廣森 聡仁 君(正会員)
山口 弘純 君(正会員) 東野 輝夫 君(正会員)

【Journal of Information Processing Outstanding Paper Award】

○「A Hierarchical Secret Sharing Scheme over Finite Fields of Characteristic 2」

[Journal of Information Processing Vol.25, pp.875-883 (2017)]

Koji Shima 君(学生会員)
Hiroshi Doi 君(正会員)

【情報処理学会論文誌 データベース 優秀論文賞】

○「In-vehicle Distributed Time-critical Data Stream Management System for Advanced Driver Assistance」

[Journal of Information Processing Vol.25, pp.107-120 (2017), 情報処理学会論文誌 データベース Vol.9 No.4 (2016, preprint 掲載)]

Akihiro Yamaguchi 君(正会員)
Yousuke Watanabe 君(正会員)
Kenya Sato 君(正会員)
Yukikazu Nakamoto 君(正会員)
Yoshiharu Ishikawa 君(正会員)
Shinya Honda 君(正会員)
Hiroaki Takada 君(正会員)

※上記()の会員情報は論文掲載時のものです。

2017 年度業績賞の表彰

本会では、産業界における顕著な業績を顕彰するため、「業績賞」を設けております。

本賞は、情報技術に関する新しい発明、新しい機器や方式の開発・改良、あるいは事業化プロジェクトの推進において、顕著な業績をあげ、産業界への貢献が明確になったものを選定し、その貢献者に贈呈するものです。

本年度の受賞者は、「業績賞候補者推薦用紙」により推薦された候補のうち、表彰規程および業績賞候補者選定手続きに基づき、浅井副会長を委員長とする選定委員会において厳正な審査を行い、理事会承認(2018 年 3 月 23 日付、定款上の理事会決議の省略手続きによる)を得て、下記の 3 件の業績の貢献者 15 名に決定されました。

受賞者には、本会表彰規程により、6 月 6 日に開催された 2018 年度定時総会において、表彰状、賞牌および賞金が授与されました。

○「音声対話型 AI 帳票を実現する現場作業支援ソリューション」

田淵 仁浩 君(正会員) 坂口 基彦 君(正会員)
服部 浩明 君 奥村 明俊 君(正会員)
古明地秀治 君

○「音声マイニング技術の研究開発と実用化」

浅見 太一 君(正会員) 野本 済央 君
河村 誠司 君 荒井 和博 君
町田 健一 君(正会員)

○「テキストマイニング技術の実用化及びその多言語化と国際的な普及」

那須川哲哉 君(正会員) 金山 博 君
吉田 一星 君(正会員) 宅間 大介 君(正会員)
米谷 雅樹 君

2017 年度優秀教育・教材賞の表彰

本会では、情報処理教育に関して優れた教育者ならびに教材開発者を顕彰するため、優秀教育賞ならびに優秀教材賞を設けております。

本年度の受賞者は、表彰規程および同賞候補者選定手続きに基づき、萩谷昌己情報処理教育委員長を委員長とする選定委員会において厳正な審査を行い、理事会承認（2018年3月23日付、定款上の理事会決議の省略手続きによる）を得て、決定いたしました。

受賞者には、本会表彰規程により、6月6日に開催された2018年度定時総会において、表彰状および賞金が授与されました。

【優秀教育賞】

- 「産学連携による地域支援を通じた学生教育」
江崎 修央 君（正会員）

2017 年度学会活動貢献賞の表彰

本会では、特定分野の運営、または会員サービスの向上への貢献を顕彰するため、学会活動貢献賞を設けております。

本年度の受賞者は、表彰規程および学会活動貢献賞候補者選定手続きに基づき、選定委員会において厳正な審査を行い、理事会承認（2018年1月31日付、定款上の理事会決議の省略手続きによる）を得て、決定いたしました。

受賞者には、本会表彰規程により、6月6日に開催された2018年度定時総会において、表彰状および賞牌が授与されました。

- 「論文誌への査読貢献」
角 康之 君（正会員） 福田 直樹 君（正会員）
葛岡 英明 君（正会員）
- 「学会誌における編集業務への貢献」
辰己 丈夫 君（正会員）
- 「デジタルプラクティスへの査読貢献」
浅井光太郎 君（正会員）
- 「第79回全国大会開催への貢献」
河口 信夫 君（正会員）
- 「FIT2017 第16回情報科学技術フォーラム開催への貢献」
相田 仁 君（正会員）
- 「初等中等教育委員会への貢献」
和田 勉 君（正会員）

2017 年度感謝状の贈呈について

本会の運営等への貢献に対する感謝の意を表するため、感謝状を贈呈しております。

本年度は、規程に基づき、第626回理事会承認（2018年4月他）を得て贈呈が決定し、6月6日に開催された2018年度定時総会において感謝状を贈呈いたしました。

- 「会誌編集長の貢献」
塚本 昌彦 君（正会員）
- 「Samurai Coding2016-17への貢献」
塩浜 龍志 君
- 「学会誌編集への貢献」
藤原 洋 君（正会員）
- 「論文誌編集業務への貢献」
浅井 信吉 君（正会員） 沖野 浩二 君（正会員）
関野 樹 君（正会員） 田浦健次郎 君（正会員）
竹村 治雄 君（正会員）

2017 年度フェローのご紹介

2017年度「情報処理学会フェロー」は、関連規程に基づき、フェロー選定委員会において厳正な審査を行い、理事会承認（2018年2月23日付、定款上の理事会決議の省略手続きによる）を得て、下記の8君に決定されました。

なお、2017年度フェローには、2018年6月6日に開催された2018年度定時総会において、認証状が授与されました。

詳細は Web サイト (<https://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/fellow/fellow.html>) をご覧ください。

- 「インターネットおよびネットワーク運用技術の発展と地域活性化に対する貢献」
相原 玲二 君（正会員）
- 「広帯域インターネットにおける高速通信手法の開発」
阿野 茂浩 君（正会員）
- 「マルチエージェントシステムによる協調と合意形成のための基礎理論および応用技術の開発」
伊藤 孝行 君（正会員）
- 「モバイルネットワークとスマートデバイスに関する研究開発および学会運営への貢献」
稲村 浩 君（正会員）
- 「携帯電話など組み込み機器のソフトウェア更新技術の研究、製品実用化および学会運営への貢献」
清原 良三 君（正会員）
- 「並列分散処理システムの研究開発および学会運営への貢献」
中田登志之 君（正会員）
- 「自動音声翻訳技術の研究と実用化に対する貢献」
中村 哲 君（正会員）
- 「人間学的側面からの情報セキュリティ技術の強化に関する研究への貢献」
西垣 正勝 君（正会員）



今月の会員の広場では、4月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、巻頭言「編集長就任にあたって 情報処理 X」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■編集長の意気込みが伝わってきた。期待しています。
(匿名希望)

■抱負は新鮮でこれからの会誌が楽しみ。新任編集長の手腕に大いに期待したい。
(南谷 崇)

特別解説「量子コンピュータ研究の現在と展望」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■「客観的で世界標準的な解説を」という意気込みとは裏腹に、読み終わっても腑にストンと落ちない。非専門家に分かりやすい解説をとの親心が逆に非常に分かりにくい記述スタイルにしているのが残念。
(南谷 崇)

■量子コンピュータについては期待していたが、ページ数の関係もあり、ちょっと中途半端だったようだ。
(奥村晴彦)

■量子コンピュータなど、最近の話題について触れられていて勉強になりました。
(匿名希望)

特別解説「コインチェック騒動」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました

■社会問題化している話題を限られたスペースで非専門家にも分かりやすく解説している。
(南谷 崇)

■コインチェック騒動に関する特別解説について、タイムリーな話題で興味深く、特に鍵管理の問題の話は新たな知見を得られました。
(三木清一)

■コインチェック騒動についての記事がとても勉強になりました。
(梅田博之)

小特集「私のターニングポイント」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■事例が多すぎてロールモデル像が拡散した印象があります。
(出井敏夫)

■今回の小特集はいずれも楽しく読ませていただきました。特に「私のターニングポイント」は、情報処理学会らしくない記事でした(笑)。しかし、本当はこういった情報発信が社会から求められているのではないかなとも思います。キャリアに関する特集は、ぜひ今後とも続けてください。
(阿部一晴)

■新年度4月号にふさわしい企画。若者には将来の可能性に勇気を与え、シニアには来し方を振り返って背筋を正す良い機会を与えている。
(南谷 崇)

■さまざまな方の人生が描かれていて自分のキャリアを決めていく上で、こんな生き方もあるのかと非常に参考になりました。
(澤 佳祐/ジュニア会員)

小特集「情報社会」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■実生活に関係するものが多いので、読んでいて面白かった。
(梅田直希/ジュニア会員)

■「今そこにある課題」という魅力的なサブタイトルにやや裏切られた。「社会的な課題」を提示する趣旨は理解できるが、本誌の多くの読者のためには、それぞれの課題についてもう少し「技術的な課題は何か」に触れてもよかった。あるいは「技術的課題はないが、社会的課題だけが残されている」ということか。(南谷 崇)

■さまざまな技術的動向が簡単に理解できて知的興味をかきたてられました。
(澤 佳祐/ジュニア会員)

「11. 自動走行時代、自動車は鉄道になってしまう？」

■自動運転に関して、記事に書いてあった内容と同じことを考えていました。自動車が完全に自動走行を行うことができれば、それは鉄道に乗っているのと変わらず、運転免許も不要になるのではないかと思います。
(匿名希望)

「14. 公共データの活用に向けて」

■情報格差をなくすためにも、オープンデータに関する取り組みは非常に重要であると思います。
(匿名希望)

「18. サイバー犯罪対策法規の残された課題」

■記事で述べられている悪意あるサイバー攻撃に対する適法な手段についての議論は非常に重要だと感じました。(匿名希望)

教育コーナー「べた語義」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

「最先端テクノロジーを学ぶ理系学生の留学を官民協働で支援する理由」

■日本人の海外への留学数が2004年から3割も減っていることに驚いたが、国費を使わない返済不要の留学奨学金で毎年1,500人も留学しているというのにも驚いた。頭脳流出という問題があるが、今は停滞させないことの方が重要に思える。
(匿名希望)

「情報処理分野における留学とインターンシップの重要性」

■留学についての記事が自分の興味と当てはまってとても面白かった。もっとコンピュータサイエンスにおける留学について詳しい特集が見たい。(匿名希望/ジュニア会員)

連載「ビブリオ・トーク:SOFT SKILLS ソフトウェア開発者の人生マニュアル」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■元ソフトウェア開発者だったせいか、新たな知見が得られなかった。(匿名希望)

連載漫画「IT 日和」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■「内輪ネタ」はその外にいるものには理解しがたいです。(匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■観光情報学に関する特集が読みたいです。(匿名希望)

■情報オリンピックについて記事にしてほしいです。(匿名希望/ジュニア会員)

■修士学生を対象として、情報系技術職で頑張っている社会人の方の紹介記事があってもよいかと思えます。(匿名希望)

■紙の地の色が暗くなったのと、以前に比べて明朝体が多用されているため、全体的に「老けた」印象があります。コスト面から紙質を戻すのはむずかしいと思いますが、可能な限りゴシック体を使うなど、見た目の印象を少しでも若々しくする努力は必要と考えます。(出井敏夫)

■今回も特集の中の一記事として出てきてはいたが、マイナーについての特集をしてほしい。(梅田直希/ジュニア会員)

■たまたま今回は小特集しかなく、それも多数の話題を並べる構成だったため、深い知見に至らなかった。やはり「学会」の会誌なのだから、もっと専門知識に触れてほしい。(伊藤雅樹)

■さまざまな先生方の研究生活の知恵やノウハウについてのテーマがあると面白いと思う。(匿名希望)

■AR/VRの最新動向(ゲーム以外での活用状況など)。(匿名希望)

■今後、新たに低年齢層(ジュニア会員の小学生程度)に向けた記事もあるとよいのではないかと思う。(匿名希望/ジュニア会員)

■東京オリンピックに向けた技術特集を読みたいです。(匿名希望)

■小特集という形は、非常に記事が分かりやすく初学者にも理解しやすい記事が多かったので時々実施してもよいのではないかと思います。(澤 佳祐/ジュニア会員)

■今回取り上げられたコインチェックの件のような時事的内容を今後も取り上げてほしい。(山田俊輔/ジュニア会員)

【本欄担当 青木秀貴, 大岸智彦/会員サービス分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」<URL : <https://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html>> にも掲載しています。Web 版では、紙面の制限などのため掲載できなかったコメントも掲載していますので、ぜひ、こちらでもご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もより良い会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想, 意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見, 提言
- ・その他, 情報処理技術についての全般的な意見, 提言

など自由なご意見, ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <https://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html>> で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見, ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。 <URL : <https://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門 E-mail : editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375
<https://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!



IP SJ カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「レジリエントな情報システム構築によるインターネットと運用技術」特集への論文募集 https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/19-J.html	6月18日(月)		
	論文誌「ソフトウェア工学」特集への論文募集 https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/19-E.html	8月1日(水)		
	デジタルプラクティス「ディープラーニングのプラクティス」特集論文募集 https://www.ipsj.or.jp/dp/cfp/dp1002s.html	8月6日(月)		
	論文誌「情報システム論文」特集への論文募集 https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/19-M.html	8月10日(金)		
6月15日(金)～	第25回教育学習支援情報システム研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cle25.html	5月1日(火)	当日のみ	北海道大学
6月16日(土)	第19回デジタルコンテンツクリエーション研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/sig/dcc/schedule.html#DCC19	5月12日(土)	当日のみ	東京藝術大学 上野キャンパス
6月16日(土)～	第119回音楽情報科学・第122回音声言語情報処理合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mus119slp122.html	4月26日(木)	当日のみ	東京大学 本郷キャンパス
6月17日(日)	東北支部報告会 https://www.ipsj.or.jp/annai/shibu/shibu_tayori2018.html			東北大学
6月20日(水)	第170回コンピュータグラフィックスとビジュアル情報学研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cg170.html	5月23日(水)	当日のみ	山形テルサ 1階大会議室
6月21日(木)	連続セミナー2018 第1回 「フィールドロボットの知能化技術開発と実用化の動向」 https://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2018/index.html		定員になり次第	化学会館/ 大阪大学中之島センター/ 東北大学
6月28日(木)～	第42回インターネットと運用技術研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/iot42.html	5月7日(月)	当日のみ	鹿屋体育大学
6月29日(金)	第12回高齢社会デザイン研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/asd12.html	5月17日(木)	当日のみ	コクヨ東京ショールーム
6月29日(金)～	第48回組込みシステム研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/emb48.html	5月15日(火)	当日のみ	東海大学 高輪キャンパス
6月30日(土)	第40回ゲーム情報学研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gi40.html	5月23日(水)	当日のみ	高知工科大学 永国寺キャンパス
6月29日(金)～	第109回ドキュメントコミュニケーション研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dc109.html	5月18日(金)	当日のみ	公立ほこだて未来大学
7月3日(火)～	マルチメディア、分散、協調とモバイル (DICOMO2018) シンポジウム http://dicomo.org/	3月20日(火)	6月4日(月)	福井県芦原温泉清風荘
7月4日(水)～	第192回知能システム研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ics192.html	5月15日(火)	当日のみ	北海道大学 情報科学棟
7月6日(金)	第236回自然言語処理研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/nl236.html	6月1日(金)	当日のみ	理化学研究所革新知能 統合研究センター(AIP)
7月7日(土)	第102回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/avm102.html	5月16日(水)	当日のみ	東京理科大学 神楽坂キャンパス
7月10日(火)	第199回ソフトウェア工学研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/se199.html	5月19日(土)	当日のみ	帯広市 とかちプラザ
7月17日(火)～	連続セミナー2018 第2回 「『EV化+完全自動運転+モビリティサービス』の必然性、 開発状況、今後の方向性を全解説」 https://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2018/index.html		定員になり次第	化学会館/ 大阪大学中之島センター/ 東北大学
7月18日(水)～	第82回コンピュータセキュリティ・第30回セキュリティ心理学と トラスト合同研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/csec82spt30.html	5月10日(木)	当日のみ	札幌コンベンション センター
7月19日(木)	第123回音声言語情報処理研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/slp123.html	5月21日(月)	当日のみ	館山寺サゴロイアル ホテル
7月20日(金)	第119回数理モデル化と問題解決研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps119.html		当日のみ	Luxor "MGM Resorts International" (ラスベガス)
7月26日(木)～	第165回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 (SWoPP2018) https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hpc165.html	5月11日(金)	当日のみ	熊本市国際交流会館
7月30日(月)	第224回システム・アーキテクチャ研究発表会 (SWoPP2018) https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc224.html	5月11日(金)	当日のみ	熊本市国際交流会館
8月1日(水)	第144回システムソフトウェアとオペレーティング・システム 研究発表会 (SWoPP2018) https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/os144.html	5月11日(金)	当日のみ	熊本市国際交流会館
7月30日(月)～	第120回プログラミング研究発表会 (SWoPP2018) https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/pro120.html	5月11日(金)	当日のみ	熊本市国際交流会館
8月1日(水)	Workshop on Curling Informatics (WCI) http://nlp.cs.kitami-it.ac.jp/curlingIP/workshop/	5月10日(木)	当日可	北見工業大学
8月2日(木)	第118回人文科学とコンピュータ研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ch118.html	7月5日(木)	当日のみ	秋田大学
8月3日(金)	第179回ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hci179.html	6月20日(水)		聖護院御殿荘(京都市)
8月18日(土)	DA シンポジウム2018—システムとLSIの設計技術— http://www.sig-sldm.org/das/	6月8日(金)		山代温泉 ゆのくに天祥 下呂温泉水明館
8月20日(月)～	組込みシステムシンポジウム2018 (ESS2018) http://www.sigemb.jp/ESS/2018/			
8月21日(火)	第88回モバイルコンピューティングとパーベイシブシステム・ 第23回コンシューマ・デバイス&システム合同研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mbl88cds23.html	7月2日(月)	当日のみ	慶應義塾大学 (三田キャンパス)

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
9月3日(月)～	平成30年度電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会	7月6日(金)	8月22日(水)	名城大学(愛知県名古屋市天白区塩釜口1-501)
9月4日(火)	http://www.ieice.org/~tokai/rengo2018/			
9月3日(月)～	The 13th International Workshop on Security (IWSEC2018)			東北大学
9月5日(水)	http://www.iwsec.org/2018/			片平さくらホール
9月5日(水)～	ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム2018 (SES2018)			東洋大学
9月7日(金)	http://ses.sigse.jp/2018/			白山キャンパス
9月6日(木)～	平成30年度電気関係学会東北支部連合大会	6月22日(金)		岩手大学
9月7日(金)	http://www.ecei.tohoku.ac.jp/tsjc/			上田キャンパス
9月11日(火)	連続セミナー2018 第3回 「セキュリティ～サイバーインシデントに備える～」 https://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2018/index.html		定員になり次第	化学会館/ 大阪大学中之島センター/ 東北大学
9月19日(水)～	FIT2018 第17回情報科学技術フォーラム			福岡工業大学
9月21日(金)	https://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2018/			
9月20日(木)～	第213回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会	7月6日(金)	当日のみ	福岡工業大学
9月21日(金)	https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim213.html			
9月27日(木)～	平成30年度(第71回)電気・情報関係学会九州支部連合大会	7月10日(火)	8月16日(木)	大分大学
9月28日(金)	http://www.jceee-kyushu.jp/			旦野原キャンパス
9月30日(日)	2018年度関西支部 支部大会 http://kansai.ipsj.or.jp/sibutaikai_2018/	6月15日(金)		大阪大学中之島センター (大阪市北区中之島4-3-53)
10月3日(水)	連続セミナー2018 第4回 「エッジコンピューティングの課題と未来」 https://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2018/index.html		定員になり次第	化学会館/ 大阪大学中之島センター/ 東北大学
10月5日(金)～	The 11th International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking (ICMU 2018)			Unitec Institute of Technology
10月8日(月)	http://www.icmu.org/icmu2018/			
10月22日(月)～	コンピュータセキュリティシンポジウム2018 (CSS2018)			ホテルメトロポリタン長野
10月25日(木)	http://www.iwsec.org/csec/index.html			
11月27日(火)	連続セミナー2018 第5回 「人工知能時代のコンピューティング基盤」 https://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2018/index.html		定員になり次第	一橋講堂中会議室/ 大阪大学中之島センター/ 東北大学
12月4日(火)～	25th Asia-Pacific Software Engineering Conference (APSEC2018)			奈良春日野国際フォーラム
12月7日(金)	http://www.apsec2018.org/			豊～I・RA・KA～
12月12日(水)	連続セミナー2018 第6回 「人工知能時代のソフトウェアエンジニアリング」 https://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2018/index.html		定員になり次第	化学会館/ 大阪大学中之島センター/ 東北大学

2019年

1月21日(月)～	24th Asia and South Pacific Design Automation Conference (ASP-DAC 2019)			日本科学未来館
1月24日(木)	http://www.aspdac.com/aspdac2019/			
3月14日(木)～	情報処理学会 第81回全国大会			福岡大学
3月16日(土)	https://www.ipsj.or.jp/event/taikai/81/			七隈キャンパス

Web ページ (<https://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 5月15日 人材募集情報 (Vol.59 No.6)
- 5月15日 会誌「情報処理」Web カタログ (Vol.59 No.6)
- 5月8日 2018年度定時総会の開催について
- 5月8日 デジタルプラクティス「ディープラーニングのプラクティス」特集論文募集
- 4月26日 「先生、質問です!」質問募集のお知らせ
- 4月25日 【CITP】IP3 認定を表すロゴおよび認定企業用ロゴを追加しました
- 4月22日 情報処理学会創立記念日に寄せて
- 4月17日 連続セミナー2018 参加申込受付を開始しました
- 4月16日 2018年度教員免許更新講習

人材募集

(有料会告)

申込方法: 任意の用紙に件名, 申込者氏名, 勤務先, 職名, 住所, 電話番号および請求書に記載する「宛名」, Web掲載の有無などを記載し, 掲載希望原稿 ([募集職種, 募集人員, (所属), 専門分野, (担当科目), 応募資格, 着任時期, 提出書類, 応募締切, 送付先, 照会先]) を添えて下記の申込先へ, E-mail, Fax または郵送にてお申し込みください。

*都合により編集させていただく場合がありますので, ご了承ください。

申込期限: 毎月15日を締切日とし翌月号(15日発行)に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関, 国公立研究機関 税抜 20,000円 (税込 21,600円)

賛助会員 (企業) 税抜 30,000円 (税込 32,400円)

賛助会員以外の企業 税抜 50,000円 (税込 54,000円)

*本誌へ掲載依頼いただいた場合に限り, 追加料金 税抜 4,000円 (税込 4,320円) で同一内容を本誌 Web ページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部 (有料会告係) E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし3日以内(土日祝日除く)に返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■大同大学情報学部情報システム学科

募集人員 教授または准教授のいずれかの職種で,

(1) コンピュータサイエンス専攻・(2) 情報ネットワーク専攻 各1名 計2名【常勤(任期なし)】

仕事内容 コンピュータ・サイエンスおよび情報ネットワークの分野全般の授業科目(演習を含む)の担当。着任時から卒業研究, 情報学系入門セミナーなどの指導

研究分野 コンピュータ・サイエンスおよび情報ネットワークに関する情報工学分野。IoTに関連する分野が望ましい

応募資格 (1) 博士の学位を有する方(着任以前の取得見込みも可), (2) 大学院担当が可能な方, (3) 学生指導に熱心な方, (4) 教育重視型大学であることを理解し, 幅広い専門分野の教育に熱意のある方, (5) 大学運営, 学科運営への協力を理解し, 協調した活動ができる方, (6) 名古屋市またはその近郊に常住し得る方

着任時期 2019年4月1日

提出書類 次の書類を提出してください(書類は論文別刷を除きA4版に揃える) *なお, 応募書類は本選考以外の目的には使用せず, 提出された書類は返却いたしません

(1) 履歴書(学歴, 職歴, 資格, 所属学会, 社会的活動, 表彰, 教育関係での経験)

(2) 教育・研究業績リスト([1]~[7]の項目に分けて記述)

[1] 著書, [2] 原著学術雑誌論文(査読の有無に分けて記述), [3] 国際会議論文, [4] 総説・解説, [5] 参加プロジェクト, [6] 特許, [7] その他 に分類する

※[2]~[4]については発行年の新しいものから全著者名, 題目, 雑誌名, 巻号, 発行年, 頁を記載

(3) 主要論文別刷(5編程度, コピー可。ただし, 外国語論文には日本語の要旨(400字程度)を別途添付)

(4) 研究費導入実績(科学研究費補助金等)

(5) 教育および研究に対する抱負(A4用紙1枚で1,000字程度)

(6) 参考意見を伺える方2名の氏名と連絡先(本学関係者を除く)

(7) その他: 最終選考対象者につきましては「健康診断書」を提出していただきます

応募締切 2018年6月29日(必着)

送付先 〒457-8530 愛知県名古屋市南区滝春町10-3

大同大学 事務部長 児玉鉄男

Tel(052)612-6111 Fax(052)612-5623

封筒宛名面に「情報学部情報システム学科教員応募書類」と朱書の上, 簡易書留または宅配便等, 授受の確認ができる方法で送付

してください

照会先 〒457-8530 愛知県名古屋市南区滝春町10-3

情報学部 情報システム学科長・教授 上田浩次

E-mail: uedakoji@daido-it.ac.jp

Tel(052)612-6111 (内線2407) Fax(052)612-5623

その他【選考内容】(1) 第一次選考: 書類審査, (2) 最終選考: 教育・研究に対する抱負についてプレゼンテーションと面接
なお, 適任の候補者が得られない場合には最終選考を行いません

■仙台高等専門学校総合工学科

募集人員 助教 1名

専門分野 情報工学・情報ネットワーク

担当科目 ネットワーク基礎, ネットワーキング技術, ネットワーク理論, 応用ネットワーク技術ほか

応募資格 博士の学位を有する方または2019年3月末までに博士の学位を取得見込みの方ほか(公募要領にて詳細をご確認願います)

着任時期 2019年4月1日

提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷ほか(公募要領にて詳細をご確認願います)

応募締切 2018年7月6日

送付先 〒989-3128 宮城県仙台市青葉区愛子中央4-16-1

仙台高等専門学校 総務課 人事・労務係

照会先 仙台高等専門学校総合工学科(情報システムコース主任)教授 早川吉弘 E-mail: hayakawa@sendai-nct.ac.jp

Tel(022)391-5585 Fax(022)391-6144

その他【公募要領】仙台高等専門学校 Web ページ「学校情報」→「採用情報」→「教員公募」

■近畿大学理工学部情報学科

募集人員 講師 1名

専門分野 IoT 関連(担当科目: IoT 関連科目, プログラミング実習など)

応募資格 詳細は本学 Web ページ (<http://www.kindai.ac.jp/about-kindai/employment/index.html>) をご覧ください

着任時期 2019年4月1日

提出書類 詳細は本学 Web ページをご覧ください
応募締切 2018 年 7 月 20 日 (必着)
送付先 〒 577-8502 大阪府東大阪市小若江 3-4-1
近畿大学理工学部情報学科 樋口昌宏
提出書類を厳封の上、「教員応募書類 (情報学科)」と朱書し、簡易書留でご送付ください
照会先 近畿大学理工学部情報学科 樋口昌宏
E-mail: higuchi@info.kindai.ac.jp Tel(06)4307-3542
Fax(06)6721-2505
その他 詳細は上記 Web ページをご覧ください

■神奈川大学理学部情報科学科

募集人員 教授, 准教授または助教 1 名
専門分野 情報科学
担当科目 プログラミング関連科目, 離散数学などの基礎科目, 専攻分野に関連する専門科目
応募資格 博士の学位を有し, 大学院の教育も担当できる方. 着任時に学生の身分を有することはできません
着任時期 2019 年 4 月 1 日
応募締切 2018 年 7 月 27 日
その他 提出書類の詳細, 提出先など募集の詳細は Web ページ (<http://www.kanagawa-u.ac.jp/employment/professor/fulltime/>) をご覧ください



FIT2018 第17回情報科学技術フォーラム

聴講参加・懇親会参加並びに講演論文集 事前予約申込の御案内

<https://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2018/>

電子情報通信学会（情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケーションングループ）と情報処理学会とは2002年から合同で毎年秋季にFIT (Forum on Information Technology) を開催しており、2018年9月には第17回目を福岡工業大学で開催致します。

つきましては、聴講参加、懇親会参加並びに講演論文集の事前予約申込の御案内を致します。皆様、奮ってお申込み下さい。

聴講参加費は、当日参加よりも事前予約の方がお得になっております。また、講演論文集（冊子、DVD-ROM）は、FIT開催中にも会場販売を行います。残部のある限りということになりますので、確実に御入手頂くには期限内のお申込みをお勧め致します。

会 期：2018年9月19日(水)～21日(金)

会 場：福岡工業大学（福岡市東区和白東3-3-0-1）

交 通：JR博多駅から鹿児島本線快速で約14分、JR福工大前駅下車
※お車でのご来場は御慮下さい。車イス等で駐車場が必要な場合は事前にお知らせ下さい。

■開催イベント企画（詳細は逐次上記Webサイトに掲載致します）

[表彰式・招待講演企画]

◎FIT学術賞表彰式

20日13:00-13:50 第1イベント会場（C棟地下ホール）

◎船井業績賞受賞記念講演

20日14:00-15:15 第1イベント会場（C棟地下ホール）

「Transforming Massive Text Data into Structured Knowledge: A Data-Driven Approach」

ーテキストビッグデータから知識を体系的に創出するー

Jiawei Han氏（米国イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校 計算科学科 Abel Bliss教授）

[イベント企画] ※タイトルは変更の可能性があります。

19日 9:30～12:00	ITと法、交渉ごと
9:30～12:00	ビッグデータ時代の医療と情報
13:00～15:00	最適モデリング
15:30～17:30	革新的コンピューティング ～技術レイヤー横断の研究開発による新たな基盤技術の創出～
20日 9:30～17:30	PRMU/IBISML共催 CVIM連催研究会
9:30～17:30	福岡工業大学ラボツアー
9:30～12:00	クラウドソーシング/ヒューマンコンピューテーション ～デジタルプラクティスライブ～
13:00～13:50	FIT 学術賞表彰式
14:00～15:15	船井業績賞受賞記念講演
15:30～17:30	人間を中心としたパターン認識・メディア理解の技術
21日 9:30～16:00	PRMU/IBISML共催 CVIM連催研究会
9:30～16:00	福岡工業大学ラボツアー

■聴講参加費（税込）

参加区分	事前予約(7/31まで)	当日
会 員	10,000円	12,000円
非会員	20,000円	24,000円
学 生	無料	無料

※会員、非会員の聴講参加費にはプログラム・参加章・電子版講演論文集（Webからダウンロード）が含まれております。

※学生の聴講参加はプログラム・参加章のみとなっております。

電子版講演論文集が必要な方には学割会場価格4,000円にて販売致します。

※会員、非会員、学生の参加区分の区別は以下の通りです。

会 員：電子情報通信学会、情報処理学会、電気学会、照明学会、映像情報メディア学会及び電子情報通信学会と協定を締

結した海外の学会（IEIE、APSIPA、ECIT、IEEE/ComSoc、KICS、VDE/ITG、KIEES、CIC、IEEE/PHO、IEEE/MTT-S、IEEE/CS、KIISE）または情報処理学会と協定を締結した海外の学会（ACM、IEEE、IEEE/CS、KIISE、CSI）の個人会員、電子情報通信学会の維持員、情報処理学会の賛助会員。

非会員：上記の学会会員以外で学生以外の方。

学 生：会員/非会員を問わず無料（電子版講演論文集は付きません）。

■懇親会（詳細は逐次上記Webサイトに掲載致します）

開催日時（予定）：9月20日（木）18：00～20：00

会場：キャンパス内 レストラン OASIS

※当日申込のみとなります。

■冊子講演論文集・DVD-ROM販売価格（税込）

申込種別	個人購入価格	法人購入価格
講演論文集セット	60,000円	60,000円
講演論文集分冊	13,000円/冊	16,000円/冊
講演論文集DVD-ROM	10,000円	56,000円

※講演論文集セットは冊子講演論文集全分冊（カバー付き）、DVD-ROM

※講演論文集の掲載分野（予定分冊構成）

第1分冊：モデル・アルゴリズム・プログラミング、ソフトウェア、ハードウェア・アーキテクチャ

第2分冊：データベース、自然言語・音声・音楽、人工知能・ゲーム、生体情報科学

第3分冊：画像認識・メディア理解、グラフィクス・画像、ヒューマンコミュニケーション&インタラクション、教育

工学・福祉工学・マルチメディア応用

第4分冊：ネットワーク・セキュリティ、ユビキタス・モバイルコンピューティング、教育・人文科学、情報システム

DVD-ROM：上記全論文とプログラムを収録

（著者、所属、キーワードによる索引付き）

■聴講参加、講演論文集の申込み・送金方法

申込締切：2018年7月31日（火）

申込方法：FIT2018Webサイトからお申込み下さい。

受取方法：聴講参加申込を頂いた方には、申込受付完了メールに引換券（PDF）が添付されておりますので、御来場の際はプリントアウトして御持参頂き、総合受付に御呈示下さい。講演論文集を御購入の場合は、お申し込みの際に「会場受取り」または「FIT終了後郵送（10月上旬）」のいずれかを選択して下さい。「会場受取り」にされた方には申込受付完了メールに引換券（PDF）が添付されておりますので、御来場の際はプリントアウトして御持参頂き、総合受付に御呈示下さい。

送金方法：申込締切後、見積・納品・請求書、郵便振替用紙、送金連絡票をお送りしますので指定の口座へお振込をお願い致します。※FIT会場での現金でのお支払いは、一切お受け致しませんので予め御了承下さい。

■次年度のFIT2019開催

2019年9月3日（火）～5日（木） 岡山大学にて開催予定

■問い合わせ（FIT2018幹事学会）

〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館内

一般社団法人電子情報通信学会 大会・研究会部 FIT担当

TEL [03] 3433-6691 FAX [03] 3433-6659

E-mail : ieicefit@ieice.or.jp

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集，参加案内等）の本誌掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金	
論文募集／ 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショップ，講演会，講習会などの論文募集・参加者募集	1ページ，1/2ページ または1/4ページ	(主催・共催)	
			1ページ	50,000円(税込54,000円)
			1/2ページ	30,000円(税込32,400円)
			1/4ページ	20,000円(税込21,600円)
			(協賛)	
広告として取り扱う				
人材募集	国公立教育機関，国公立研究機関， 企業の人材募集	10行程度	国公立教育機関，国公立研究機関	20,000円(税込21,600円)
			賛助会員（企業）	30,000円(税込32,400円)
			賛助会員以外の企業	50,000円(税込54,000円)
* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金4,000円(税込4,320円)で同一内容を本会Webページに掲載できます。				

■申込方法 任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先，Web掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

■原稿の書き方

- 行事次第書： A4変形判カメラレディまたはPDFファイル（フォント埋め込み）とします。
（1ページ） 天地 250mm × 左右 180mm
（1/2ページ） 天地 120mm × 左右 180mm
（1/4ページ） 天地 55mm × 左右 180mm
* A4判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。

- 人材募集： 次の項目を明記し，E-mailまたはFax，郵送にてお送りください。
[募集職種，募集人員，(所属)，専門分野，(担当科目)，応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先]
* なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください。

■申込期限 毎月15日を締切日とし，翌月号（15日発行）に掲載します。

■掲載料金 掲載号発行日に料金を請求いたしますので，3カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先 一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係）
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
E-mail:editj@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8371 Fax(03)3518-8375

● 論文誌ジャーナル掲載論文リスト

Vol.59 No.6 (June 2018)

【一般論文】

- Magic graph の一般化とその性質 杉山雅英
- MAX-MIN Ant System with Memory Considering New Solution Importance Takashi Isozaki 他
- Performance Improvement Techniques in Tightly Coupled Multicore Architectures for Single-Thread Applications Keita Doi 他
- AutoSort : レガシーシステム分析のためのプログラミング言語の判定支援手法 岡田譲二 他
- Investigation of the Diverse Sleep Behavior of Malware* Yoshihiro Oyama
- How to Handle Excessively Anonymized Datasets Ryo Nojima 他
- A Privacy Preserving Protocol for Cloud-Based Implementation of Aware Agents Masato Hashimoto 他
- Curriculum Analysis of Computer Science Departments by Simplified, Supervised LDA Yoshitatsu Matsuda 他

* : 推薦論文 Recommended Paper

† : テクニカルノート Technical Note



● 論文誌トランザクション掲載論文リスト

(June 2018)

【論文誌 教育とコンピュータ Vol.4 No.2】

- 高大連携の導入講座としての LEGO プログラミング演習の実践 富永浩之 他

- ジグソー学習法を取り入れた新入生を対象とするネットワーク利用ガイダンスの実践と評価 鈴木大助
- コンピュータサイエンス入門教育の題材としてのアセンブリ言語プログラミング 久野 靖 他
- 通信の仕組みを理解するためのロールプレイ演習の実践と評価 鈴木大助
- ピクトグラミング—人型ピクトグラムを用いたプログラミング学習環境— 伊藤一成



【Transactions on Bioinformatics Vol.11】

- R-STEINER : Generation Method of 5'UTR for Increasing the Amount of Translated Proteins Hiroaki Tanaka 他
- Improvement and Evaluation of a Mathematical Model for Fertilization Calcium Waves in Caenorhabditis elegans Momoko Imakubo 他



【論文誌 プログラミング Vol.11 No.2】

- レジスタ最適化を用いた CUDA による格子ボルツマン法の高速度化手法 富永浩文 他
- 反復的な試行にもとづく SMT ソルバ実行戦略の検討 高野保真 他



情報処理学会の会員になりませんか!

www.ipsj.or.jp

新規会員
募集中

一般社団法人 情報処理学会は、IT に関する専門家集団として健全な情報化社会の実現に向けて、学術・文化・産業等の多方面に貢献しています。

■活動の概要

- 出版活動 (学会誌「情報処理」、論文誌、デジタルプラクティス、単行本の発行)、電子図書館への掲載
- 各種行事の開催 (研究発表会、全国大会、FIT (情報科学技術フォーラム)、シンポジウム、連続セミナー、ソフトウェアジャパン他)
- 教育活動 (大学の標準カリキュラム策定、JABEE 認定審査、認定情報技術者 (CITP) 認証、教員免許更新講習)
- 国際交流 (IFIP への加盟、海外学協会との提携)
- 標準化活動
- その他の活動 (各種提言・コンピュータ博物館の運営・情報処理技術遺産の認定・表彰・支部活動他)

■会員になるには

入会金 (正会員のみ) と会費をお振り込みの上、入会申込書をお送りください。理事会で承認後会員証 (賛助会員除く) をお送りします。情報処理学会の会員は、個人会員と賛助会員から構成されています。

個人会員

- 名誉会員：当学会の活動において特別な功績があり、総会で推薦された個人
- 正会員：当学会の目的に賛同して入会した個人で、当学会の中心的会員
- 学生会員：学校に在学中の個人
- ジュニア会員：小学生～大学学部3年生以下の学生 (会費無料)

賛助会員

当学会の活動をサポートする団体または個人

■ご入会いただくと、こんな良いことがあります。

1 最新技術を紹介する会誌「情報処理」が毎月お手元に届きます (ジュニア会員は電子版のみ)。

特集：人流シミュレーション / 「ロボットは東大に入れるか」という企て / ソフトウェア工学の最前線 / 農業 ICT / 情報教育とワークショップ / IoT 時代のセーフティとセキュリティ / ACM チューリング賞 50 周年記念大会 / プログラミング・エクスペリエンスの新潮流 / デジタルゲリマンダとは何か / ファイルシステムとストレージ / 私たちの未来 / 脳情報科学が拓く AI と ICT / スマホプログラミング / 進化し続けるコンピュータ将棋 他

2 実務の現場で IT を実践する皆様に向けた論文誌「デジタルプラクティス」を年 4 回発行しています (電子版のみ)。

特集：社会に浸透する画像認識 (4 月刊行) / IoT システムと組み込み技術 (7 月刊行) / デザイン・アートと ICT の融合によるサービスのイノベーション (10 月刊行) / オープンデータを活用した新しい社会 (1 月刊行)

3 電子図書館で「情報処理」の過去の記事を見ることができます。

4 「連続セミナー」に会員価格 (7,000 円お得) で参加できます。

時代に即しかつ技術の先進性に富んだ内容をテーマに、その分野の第一線で活躍している講師を招いて年数回にわたり開催しています。2017 年度は「イノベーション最前線：2020 年を超えて生き抜くための技術を探る」をテーマに、6 回開催しました。

5 ホットピックスに対応する「シンポジウム・セミナー」(5,000 円以上お得) や「研究会」に会員価格で参加できます。

3D プリンタ、Bit Coin、Fintech、GPS、IoT、ITS、アクセシビリティ、暗号、インターネット、ウェアラブル、組み込みシステム、クラウド、ゲーム、自動運転、障害者支援、シンギュラリティ、人工知能、スマート社会、セキュリティ、ソーシャルネットワーク、ダイバーシティ、データマイニング、ドローン、バイオ、ビッグデータ、ユビキタス、量子コンピュータ、ロボット、ディープラーニング

6 出版図書が会員割引で購入できます。

IT Text シリーズ、英文図書 Advanced Information Technology シリーズ、日本のコンピュータ史等

他にも会員向けサービスがたくさんあります。詳細は学会 Web サイトをご覧ください。



2017 年度

ホット
トピックス

お問い合わせは、
一般社団法人 情報処理学会 会員サービス部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
Tel.(03)3518-8370 Fax.(03)3518-8375 mem@ipsj.or.jp

「情報処理」 カタログ同封サービスの ご案内

？
カタログ同封
サービスとは？

毎月会員に配布している学会誌に貴社/貴校のカタログや広告を同封し、直接読者にお届けするサービスです。
通常のDMと異なり学会誌に同封しますので、**読者の開封率は格段に上がります。**
また、カタログ送付にかかる**コストを最小に抑えることができ、なおかつ情報処理を専門とする読者にターゲットを絞った効果的な案内を出すことが可能**となります。



お申し込み方法と掲載までの手続き

- 封入希望月の前月15日までに下記事項を記載の上、問合せ先までお申し込みください。
 - ◆会社名, 担当者, 連絡先 (住所、Tel、Fax、E-mail) ◆封入希望号
 - ◆サイズ ◆カタログの簡単な内容説明
 - ◆割引対象にあたる場合はその旨記載ください。
- 封入希望月の遅くとも前月末日までに下記事項について手配をお願いします。
 - ◆カタログ見本を問合せ先までお送りください (PDF、Fax可)。
 - ◆納品業者をお知らせください。
- 納品日は封入希望月の5日 (土曜、日曜、祝日の場合は翌営業日) です。日付指定にて必要枚数 (20,000 枚) を印刷し指定の納品先へお送りください。

※納品先は、お申し込み後にご連絡いたします。
※納品が遅れますと同封ができない場合がございます。その場合はキャンセルとさせていただきます。
- カタログを同封した学会誌を発行日にお送りしますので、ご確認ください。
- 後日請求書をお送りしますので振込手続きをお願いします。

1通あたり
約17.5円!

基本価格 350,000円

(税込 378,000円)

対象：全会員 20,000通 配布
(正会員 / 名誉会員 / 学生会員 / 賛助会員)

大学や
共催事業は
さらに割引も!

大学 / 研究所 / 賛助会員 (基本価格の40% Off!)	210,000円 (税込 226,800円)
情報処理学会主催・共催事業* (基本価格の80% Off!)	70,000円 (税込 75,600円)

* 情報処理学会研究会主催、共催を含む

サイズ：A4変形判またはA4判二つ折り (その他についてはご相談ください)
用紙：色上質厚口 (四六判 80kg) またはコート紙 (四六判 90kg) 相当

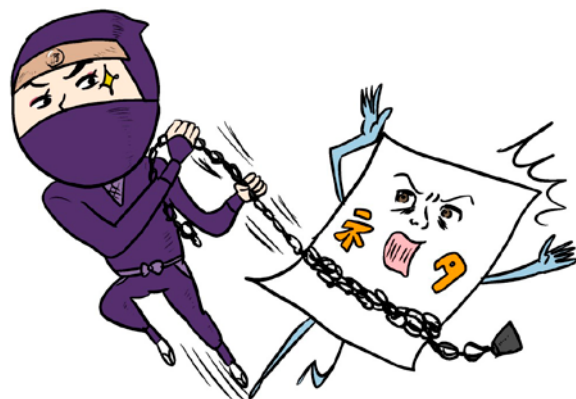
問合せ先

[広告代理店] アドコム・メディア (株) E-mail: sales@adcom-media.co.jp
〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27
Tel.(03)3367-0571 Fax.(03)3368-1519

一般社団法人情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
Tel.(03)3518-8371 Fax.(03)3518-8375

『特別解説』テーマ募集!!

計算速度が1万倍に? 仮想通貨が暴落するの? 「特別解説」はそんな気になるニュースの学術的背景をタイムリーに分かりやすく解説し、好評をいただいています。読者の皆様からもテーマを募集しますので、情報処理の専門家に解説してほしいテーマをお寄せください。掲載は3カ月後くらいになりますので、ニュースは新鮮なうちに、思いついたらすぐお知らせください。



投稿先

情報処理学会 会誌編集部門 E-mail:editj@ipsj.or.jp

デジタルプラクティスがHTMLページでご覧いただけるようになりました

デジタルプラクティスはより多くの方々にご覧になっていただけるよう31号からHTMLページで公開を始めました。PCやスマートフォン、タブレットに対応したレスポンスサイトですので、お気軽にアクセスしてみてください。



無料公開

<https://www.ipsj.or.jp/dp/contents/publication/index.html>

※電子図書館「情報学広場」や App Store 情報処理学会アプリもご利用いただけます。



会誌「情報処理」

デジタルプラクティス **無料**



情報処理学会

「情報処理学会」アプリは
 iPad, iPhone, iPod Touch といった iOS 端末から
 無料でダウンロードできます

会誌

- 月単位の購入が可能です。
- 購入前に立ち読みができますので、ぜひいちどおためしください。
- 年間購読で 12,800 円（1 冊あたり約 1,000 円）でお得です。
 1 カ月：1,700 円 / 6 カ月：9,800 円 / 1 年：12,800 円

DP

- 「デジタルプラクティス」は会員・非会員を問わず、どなたでも**無料**でお読みいただけます。
- アプリを一度ダウンロードすれば、最新号が自動で送られてきます。

**購読
無料!!**



**年間購読
でお得!!**



**まわりの方にも
ご紹介ください!**

アプリのダウンロードはこちら（無料）

情報処理学会



<https://itunes.apple.com/us/app/yue-kan-qing-bao-chu-li-qing/id910830137?l=ja&ls=1&mt=8>

お問合せは 一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel: (03) 3518-8371

ご寄付のお願い

情報処理学会は、情報処理に関する学術および技術の振興をはかることにより、学術、文化ならびに産業の発展に寄与することを目的に各種事業を戦略的に展開しております。今回、学会活動の更なる活性化を図る上で会員の皆様からご寄付を頂戴いたしたく、お願いを申し上げます。

皆様から頂きますご寄付は

情報技術を通じて、人類及び世界の発展に資するため
情報技術を中心に学術および技術の振興に資するため
将来を担う人材の育成に資するため

などの観点に照らし、下記の項目に活用させて頂く所存です。

今回ご寄付をお願いしたいのは現金に加えて、情報技術に関わる有形無形の資産（著作物、電子的コンテンツ、特許、ソフトウェア等）、ボランティアで提供いただける役務提供（経験や知識に基づく役務）なども含まれます。お預かりいたしましたご寄付のうち用途のご指定のあるものは、そのご意向に沿った活用をさせて頂き、ご指定のないものは、その用途を学会活動の活性化に有効な諸事業で活用させて頂きます。今後も会員の皆様の絶大なるご支援・ご協力を頂きながら、学会発展のために努力して参る所存でありますので、何卒よろしくごお願い申し上げます。

* ご注意 情報処理学会は寄付金に対する税金が優遇される特定公益増進法人ではございません。

IPSJ 寄付

会員他寄付



活用先

教育・育成
情報入試 | 子ども教室 | パソコン教室
社会貢献
表彰
国際活動
規格標準化
情報資産保存
学会諸事業
その他



詳しくはこちら

<https://www.ipsj.or.jp/annai/other/donation.html>

お問合せ

一般社団法人 情報処理学会 管理部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F

TEL 03-3518-8374 FAX 03-3518-8375

✉ soumu@ipsj.or.jp

IPSJ メールニュースへ広告を出しませんか？

広告を IPSJ メールニュースで配信しています。本会会員が主な読者なので、ターゲットを絞った広告に最適です。

- 配 信 数：約 32,000 通（原則毎週月曜日配信）
- 読 者 層：本会会員および非会員
- 形 式：テキストのみ。等幅半角 70 字× 5 行。URL を入れてください。
- 掲載位置：ヘッダ（目次の上）
フッタ（本文の最下行）
- 掲 載 料：ヘッダ：1 回 50,000 円（税込 54,000 円）※ 3 社限定
フッタ：1 回 20,000 円（税込 21,600 円）
※それぞれ行数超過については別途相談
- 申 込 先：[広告代理店]
アドコム・メディア（株）E-mail: sales@adcom-media.co.jp
〒 169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27 Tel(03)3367-0571 Fax(03)3368-1519
または、情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8371
- 申込締切：毎週水曜日締切、翌週月曜日配信となります。
- 見 本：

— [広告] —

■■■■ ○○セミナー ■■■■

開催日時：1月10日（火）・11日（水）・12日（木）13：00～17：00
会場：○○コンベンションセンター
会費：情報処理学会会員の方には割引があります。
詳細はこちらをご覧ください：<http://www.....com/>

— [広告] —

Web サイトバナーについて

本会では Web サイト内 (<https://www.ipsj.or.jp>) に載せるバナー広告を募集しています。当サイトへ広告を載せることで、本会会員または情報処理に興味のある方々に強くアピールすることができます。ぜひ本会 Web サイトへのバナー広告掲載をご検討ください。

- トップページアクセス数：約 20,000 件／月
- サイズ・ファイル形式：幅 200 × 高さ 38 ピクセル JPEG もしくは GIF 形式 ※リンク先 URL もご指定ください。
- 見 本：

インターネットフォーラム
開設中!

- 掲載期間：1 カ月単位の契約となります。ご希望掲載期間をお知らせください。
- 掲 載 料：トップページ：50,000 円／月（税込 54,000 円）
その他のページ：30,000 円／月（税込 32,400 円）
*本会賛助会員の企業広告および賛助会員が主催する会議については、上記料金より 20%割引になります。
- 注意事項：アニメーションを含むバナーはご遠慮ください。
広告の内容が大幅に変更された場合は、下記照会先にご連絡ください。
- 照会／申込先：
[広告代理店]
アドコム・メディア（株）E-mail:sales@adcom-media.co.jp
〒 169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27 Tel.(03)3367-0571 Fax.(03)3368-1519
または 会誌編集部門 E-mail:editj@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8371

CONTENTS

Preface

- 590 **Public Relations in Hyper-globalization**
Takashi INOUE (Society of Global Business)

Special Article

- 592 **Telemedicine and Artificial Intelligence as Next-generation Medical Solutions**
Masatoshi TAKEMURA and Hideaki IMAIZUMI (exMedio, Inc.)
- 596 **Cambridge Analytica Incident and Its Issues**
Ryosuke NISHIDA (Tokyo Institute of Technology Academy for Leadership)

Special Features

Technologies on Mourning and Memorialization

- 600 **0. Foreword**
Daisuke URIU (The Univ. of Tokyo)
- 602 **1. Research Topics Related to Technology Enabled Mourning and Memorialization**
Daisuke URIU (The Univ. of Tokyo)
- 606 **2. Post-mortem Personal Data and Privacy**
Akiko ORITA (Kanto Gakuin Univ.)
- 610 **3. Considering Buddhist Temple in the Next Generation from a Perspective of Managing an Automatic Conveyor-belt Columbarium**
Kenryu TSUNODA (dentouin)
- 612 **4. A Consideration Concerning a Contemporary Temple and Usage of Digital Media Technology - How to Strengthen the Relationship through Face to Face Interaction -**
Mitsuhiko AKITA (The Jodo Sect)
- 616 **5. "Memorial 3D Figure" Provides Alternative ways of Mourning and Memorialization - Living with Deceased Loved One -**
Koichi FURUSHO (ROICE ENTERTAINMENT INC.)
- 620 **6. Put The Soul in The Robot**
Nao KONDO (TRYBOTS)

- 624 **7. The Day the Robot Living together Dies**
Tomomi OTA

Senior Column : Messages on Favorite IT

- 599 **Shocking Encounter with the Super-high-speed Developer Tool**
Kiyoshi ISOZAKI (USE Business Solution Co., Ltd.)

"Peta-gogy" for Future

- 627 **Proposal of "Open Pedagogy"**
Katsusuke SHIGETA (Hokkaido Univ.)
- 628 **Approach to Quality Assurance of Distance Asynchronous Online Learning in University Collaboration Project**
Akiko TAKAHASHI (Tokushima Univ.)
- 632 **Encouragement of Entrance Examination of Informatics**
Katsuhiko KAKEHI (Tokyo Online Univ.) and Yasuichi NAKAYAMA (The Univ. of Electro-Communications)

-
- 636 **Biblio Talk**
 - 638 **Skimming a Famous Paper in Five Minutes**
 - 642 **Conference Report**
 - 645 **Regular Column**



ご意見をお寄せください！

【7月10日頃までにお出ください】

宛先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係（下記のいずれから送付できます）
https://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)
※ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。
https://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html

[コード]

- (1) ご氏名
- (2) ご所属 Tel. () -
- (3) E-mail:
- (4) 業種：(a) 企業（サービス業）(b) 企業（製造業）(c) 研究機関 (d) 教育機関（小・中・高校・高専・大学・大学院など）
(e) 学生 (f) 学生（ジュニア会員）(g) その他…………… 4- []
- (5) 職種：(a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教職員（小・中・高校・高専・大学・大学院など）
(h) 学生 (i) 学生（ジュニア会員）(j) その他…………… 5- []
- (6) 年齢：(a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上…………… 6- []
- (7) 性別：(a) 男性 (b) 女性…………… 7- []
- (8-1) あなたはモニタですか？：(a) はい (b) いいえ…………… 8-1- []
- (8-2) あなたのご意見は「会員の広場」（会誌および Web）に掲載される場合があります。その場合：
(a) 実名可（氏名のみ掲載）(b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない…………… 8-2- []
- (9) どちらの媒体で記事をお読みになりましたか？
(a) 冊子版 (b) 情報学広場（電子図書館）(c) App Store (d) fujisan (e) その他…………… 9- []
- (10) 今月号（2018年7月号）の記事は良かったですか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。
[a…大変良い b…良い c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない]
- 巻頭コラム：ハイパー・グローバルゼーションにおけるパブリック・リレーションズ…………… 10-1- []
- 特別解説：次世代医療としての遠隔医療と人工知能…………… 10-2- []
- 特別解説：ケンブリッジ・アナリティカ事件とその論点…………… 10-3- []
- IT好き放題：超高速開発ツールとの衝撃的出会い…………… 10-4- []
- 特集：吊いと技術革新
1. 吊いと技術革新にかかわる研究トピック…………… 10-5- []
2. 死後のデータとプライバシー…………… 10-6- []
3. 搬送式納骨堂を起点に考える寺院の未来…………… 10-7- []
4. これからの寺院の役割とデジタルメディア…………… 10-8- []
5. 遺人形がもたらす未来の吊い…………… 10-9- []
6. ロボットに魂を込める…………… 10-10- []
7. 一緒に暮らす「ロボット」が死ぬ日…………… 10-11- []
- 連載漫画：IT日和…………… 10-12- []
- べた語義：諸外国で広がるオープンな教育学（Open Pedagogy）の提案…………… 10-13- []
- べた語義：大学間連携事業における遠隔非同期型 e ラーニングの質保証の取り組み…………… 10-14- []
- べた語義：情報入試のすゝめ…………… 10-15- []
- ピブリオ・トーク：ギークママ…………… 10-16- []
- 5分で分かる!? 有名論文ナメ読み：Alma Whitten and J. D. Tygar: Why Johnny Can't Encrypt: A Usability Evaluation of PGP 5.0…………… 10-17- []
- 会議レポート：SIGCSE 2018 参加報告およびコンピュータサイエンス教育におけるトップカンファレンスのススメ…………… 10-18- []
- リレーコラム：編集昔ばなし…………… 10-19- []
- (11) 本号で最も良かった記事は何ですか？ 上記（10）の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。
- (11-1) 良かった記事…………… 11-1- []
- (11-2) この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家…………… 11-2- []
- (11-3) 選んだ理由（下記から、いくつでも選択可）…………… 11-3- []
- a) 技術・研究動向がよく分かった b) 知的興味をかきたてられた c) 新たな知識を得ることができた d) 内容が平易で理解しやすかった
e) その他（具体的に下記にご記入ください）

[12] 本号で最も良くなかった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入），その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- 〔12-1〕良くなかった記事 12-1- []
 〔12-2〕この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 12-2- []
 〔12-3〕選んだ理由（下記から，いくつでも選択可）..... 12-3- []
 a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる
 f) テーマに興味を持てなかった g) その他（下記に具体的に記入ください）

[13] 今月の特集に対する貴方の立場を教えてください。

- 〔13-1〕 甲いと技術革新：a) 専門家 b) 非専門家 13-1- []

[14] 設問〔10〕で読んでいないと答えた記事について，その理由を教えてください。

[15] 会誌に対するご意見や感想，著者への質問，巻頭コラムに登場してほしい人物，今後取り上げてほしいテーマなどありましたらご記入ください。（スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください）

■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会（本部） ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <https://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	Tel(ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会，会費，変更連絡，退会，在会証明，会員証，会誌配布，会員特典，会費等口座振替，海外からの送金，賛助会員，電子図書館
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容，広告掲載，出版，コンピュータ博物館（情報処理技術遺産）
著作権	copyright@ipsj.or.jp		転載許可，著作権
デジタルプラクティス	editdp@ipsj.or.jp		デジタルプラクティス（DP）の編集・査読，DPレポート
図 書	tosho@ipsj.or.jp	03-3518-8374	出版物購入
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル／JIP／トランザクション）の編集・査読
調査研究／国際／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録，研究発表会，研究グループ，シンポジウム，国際会議，IFIP委員会，情報処理教育委員会，ア krediteーション対応
■ 事業部門			
事 業	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会，FIT，プログラミングコンテスト，プログラミング・シンポジウム，協賛・後援
技術応用	event@ipsj.or.jp		連続セミナー，短期セミナー，ITフォーラム，ソフトウェアアジア，その他講習会
認定情報技術者制度	ipsj.citp@ipsj.or.jp		認定情報技術者制度
■ 管理部門			
総務／庶務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	総会・理事会，支部，選挙，総務系選奨，関連団体，アドバイザーボード
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納，送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画，セキュリティ，電子化委員会，電子図書館，IPJSJ メールニュース
■ 情報規格調査会			
規格部門	問合せフォーム https://www.itscj.ipsj.or.jp/contact/index.html		ISO/IEC JTC 1での情報技術の標準化業務 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 https://www.itscj.ipsj.or.jp/

少しでも多くの方に興味を持ってもらいたいがために、この特集の監修を引き受けた。にもかかわらず……あえて言うが、弔いを研究対象とするのは大変だ。私自身、調査と創作の両輪で研究を進めているが、センシティブなトピックであるがために何度も調査・協力を拒否されている。とりわけ葬祭ビジネスに携わる人々は、時に世間から「不謹慎」「不吉」と言われることすらある中で商売をしている。なかなか表に出せないこともある。何を隠そう、この特集への寄稿もたくさんの方から断られた。はじめに想定していた方から断られると、当然、次にお願ひする方の執筆期間は短くなる。編集部の皆様にも、特集が成り立たないのではとご心配をおかけした。本当に無理なスケジュールにもかかわらず、また難しいテーマ設定にもかかわらず、寄稿していただいた方々には心から感謝の意を述べたい。

しかし、このテーマは実に興味深い。まず、ほとんどの場合主役（故人）が不在な点だ。どんなに残された者が満足しようと、何か新しいものを作っても、故人からフィー

ドバックを受けることができない。そして、常に一義的な答えはなく、また一定の時間が経てば妥当だと思われていた解が否定される。ところがその際、当事者たちは「伝統」ということばを使って、古くなった既成概念を守ろうとする。今まさにその変化の時が来ている。日々、実験・開発・評価に追われている皆様、「弔いと技術革新」について、取り組んでみませんか。研究テーマに事欠きませんよ！

エンディングノートに書かれた通りに葬儀をしなくても、たぶんバチもあたらないし、故人が悲しむ姿を見ることもない。でも、なぜか「故人の思いを叶えてあげたい」と思ってしまう。そして墓参りをして「故人にく会いたい」と思うのが人間という生き物だ。今日のように科学が発達する遙か前から存在し、その形は変わっても今日も続く、弔い。いよいよ本格的に技術革新が寄与する時がきた。と、少なくとも私は思っている。

（瓜生大輔／本特集ゲストエディタ）

次号（8月号）予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」暮らしの中で活躍するAIとロボット

暮らしの中のロボット・AI—家庭用ロボットの現状と将来—／なぜロボットを使うの？／自律型エンタテインメントロボット aibo—進化した aibo について—／高齢者向けロボットの開発ポイント—ヒューマンセントリックな製品の創り方—／社会に貢献する受付・案内ロボットシステム／警備サービスにおけるロボットについて—さまざまな場所で活躍する警備・案内機能を持つロボット—／ラジオ界初の AI アシスタント／家族としての Pepper

報告：2017 年度論文賞の受賞論文紹介／2017 年度業績賞紹介／2017 年度マイクロソフト情報学研究賞紹介

教育コーナー：べた語義

連載：IT 日和／5 分で分かる!? 有名論文ナメ読み／先生、質問です！／ビブリオ・トーク

コラム：巻頭コラム／シニアコラム：IT 好き放題／リレーコラム

会議レポート：第 80 回全国大会開催報告～みんなの情報処理教育～／じんもんこん 2017 開催報告

複写される方へ

本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写してください。ただし、(社)日本複写権センター（同協会より権利を再委託）と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による社内利用目的の複写はその必要はありません。（社外頒布用の複写は許諾が必要です）。

権利委託先：一般社団法人学術著作権協会
〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル
E-mail: info@jaacc.jp Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619
なお、著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、本会へご連絡ください。
また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡してください。
Copyright Clearance Center, Inc.
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA
Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

Notice for Photocopying

If you wish to photocopy any work of this publication, you have to get permission from the following organization to which licensing of copyright clearance is delegated by the copyright owner.

<All users except those in USA>
Japan Academic Association for Copyright Clearance, Inc. (JAACC)
6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan
E-mail: info@jaacc.jp
Phone: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

<Users in USA>
Copyright Clearance Center, Inc.
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA
Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

..... 広告のお申込み

■ 広告料金表

掲載場所	4色	1色
表2	330,000円 (税込356,400円)	—
表3	275,000円 (税込297,000円)	—
表4	385,000円 (税込415,800円)	—
表2対向	300,000円 (税込324,000円)	—
表3対向	265,000円 (税込286,200円)	155,000円 (税込167,400円)
前付1頁	250,000円 (税込270,000円)	135,000円 (税込145,800円)
前付1/2頁	—	80,000円 (税込86,400円)
前付最終	—	148,000円 (税込159,840円)
目次前	—	148,000円 (税込159,840円)
差込 (A4変形判 70.5kg未満 1枚)	275,000円 (税込297,000円)	
差込 (A4変形判 70.5kg～86.5kg 1枚)	350,000円 (税込378,000円)	
同封 (A4変形判 1枚)	350,000円 (税込378,000円)	

■ 「情報処理」

発行 一般社団法人 情報処理学会
 発行部数 20,000部
 体裁 A4変形判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 完全版下データ
 原稿寸法 1頁 天地250mm×左右180mm
 1/2頁 天地120mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地280mm×左右210mm

■ 問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

..... 掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて（またはE-mailにて必要事項を記入の上）アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■ 「情報処理」 59巻7号 掲載広告 (五十音順)

- インタフェース 表2 オージス総研 表2対向
- すべての会社を希望

■ 資料送付先

フリガナ お名前	_____		
勤務先	_____ 所属部署		
所在地	(〒 _____)	_____	
	TEL (_____)	-	FAX (_____) _____
ご専門の分野	_____		



お問合せ・お申込み・資料請求は

広告総代理店 **アドコム・メディア(株)**

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp

賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。
Web サイト (<https://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html>) 「賛助会員一覧」のページからも
各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail: mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

Orchestrating a brighter world

NEC

日本電気 (株)

MITSUBISHI ELECTRIC
Changes for the Better

三菱電機 (株)

CyberAgent.

(株) サイバーエージェント

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)

RECRUIT

(株) リクルートホールディングス

Google

グーグル合同会社

NTT docomo

(株) NTTドコモ

TOSHIBA

(株) 東芝

NTT

日本電信電話 (株)

Microsoft

日本マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)

TTC Telecommunication Technology Committee

(一社) 情報通信技術委員会

NTT DATA

NTTデータ (株)

GREE

GREE (株)

Rakuten

楽天 (株)

IA japan

(一財) インターネット協会

ISA

情報サービス産業協会

TREND MICRO

トレンドマイクロ (株)

NTTコムウェア

NTTコムウェア (株)

NTTテクノクロス

NTTテクノクロス (株)

uejima

(株) うえじま企画

OKI

沖電気工業 (株)

SANBI

三美印刷 (株)

Septeni

Septeni Japan (株)

SONY

ソニー (株)

team Lab

チームラボ (株)

Panasonic

パナソニック (株)

FORUM 8 フォーラムエイト

(株) フォーラムエイト

人と音楽の新しい関係をデザインする。
レコチョク

(株) レコチョク

●●● 賛助会員 (2口)

KDDI KDDI R&D LABS

(株) KDDI 研究所

NEC NECソリューションイノベータ

NEC ソリューション
イノベータ (株)

NTTAT

NTT アドバンステクノロジ (株)

SFC

三協印刷 (株)

JR JRシステム

鉄道情報システム (株)

KCT

(株) ナレッジクリエーション
テクノロジー

放送協会

日本放送協会
放送技術研究所

HITACHI Inspire the Next
日立システムズ

(株) 日立システムズ

インテル (株)

(一財) 日本データ
通信協会

【A～Z】

(株) AndTech
 (株) ATJC
 (株) ATR-Trek
 (株) CIJ
 (株) CIJネクスト
 (株) DMM.com Labo
 (株) DTS インサイト
 (株) FKAIR
 freee (株)
 GMO ペパボ(株)
 (株) HBA
 JRC エンジニアリング(株)
 (株) JR東日本情報システム
 (株) JTB コーポレートセールス
 法人営業川崎支店
 (株) K & S
 (株) KDDI 総合研究所
 MHI エアロスペースシステムズ(株)
 NEC ソリューションイノベータ(株)
 NEC ネットイノベーション(株)
 NEC フィールディング(株)
 NTT アドバンステクノロジー(株)
 NTT コミュニケーションズ(株)
 NTT コムウェア(株)
 (株) NTT データ
 (株) NTT データ・アイ
 (株) NTT データ関西
 (株) NTT データ九州
 (株) NTT データ数理システム
 (株) NTT データ東海
 (株) NTT データ東北
 NTT テクノクロス(株)
 (株) NTT ドコモ
 (株) OKI ソフトウェア
 (株) PFU
 SCSK (株)
 Septeni Japan (株)
 TDC ソフト(株)
 TIS (株)
 (株) UNCOVER TRUTH
 (株) U-NEXT
 YKK (株)

【あ行】

アイアンドエルソフトウェア(株)
 (株) アイヴィス
 アイシン・エイ・ダブリュ (株)
 アイシン精機(株)
 (株) アイズファクトリー
 アイホン(株)
 (株) アイレップ
 アシアル(株)
 (株) アドバンス トラフィック シス
 テムズ
 (株) アドバンス・メディア
 アビームシステムズ(株)
 (株) アピリッツ
 (株) アルファシステムズ

(株) いい生活
 池上通信機(株)
 伊藤忠テクノソリューションズ(株)
 (一財) インターネット協会
 (株) インテック
 インテル(株)
 インフォサイエンス(株)
 (株) ヴァル研究所
 ヴィスコ・テクノロジーズ(株)
 (株) うえじま企画
 (株) エイ・ダブリュ・ソフトウェア
 (株) エイチチーム
 (株) 駅探
 (株) エクサ
 エヌ・ディー・アール(株)
 エヌビディア合同会社
 (株) エルザジャパン
 オークマ(株)
 (株) 大塚商会
 (株) オーム社
 沖電気工業(株)
 (株) 小野仁
 オムロン(株)

【か行】

国立研究開発法人 科学技術振興
 機構
 (公財) 画像情報教育振興協会
 (学) 片柳学園日本工学院八王子
 専門学校
 関西テレビソフトウェア(株)
 (一財) 機械振興協会
 キヤノン IT ソリューションズ(株)
 キヤノンメディカルシステムズ(株)
 共立出版(株)
 (株) 近代科学社
 グーグル合同会社
 (株) クライム
 グリー(株)
 (株) ぐるなび
 経済産業省
 (株) コア 中四国カンパニー
 (株) 構造計画研究所
 国立国会図書館
 コニカミノルタ(株)
 (株) 小松製作所

【さ行】

(株) サイバーエージェント
 サクサ(株)
 サクシード(株)
 三協印刷(株)
 三美印刷(株)
 三友工業(株)
 (株) シーエーシー
 システム・オートメーション(株)
 (株) ジャステック
 (株) ジャパンテクニカルソフトウェア
 (一社) 情報サービス産業協会

(独) 情報処理推進機構
 (一社) 情報通信技術委員会
 新世代M2Mコンソーシアム
 新日鉄住金ソリューションズ(株)
 (株) スカイディスク
 住友電気工業(株)
 (学) 聖学院
 セイコーエプソン(株)
 (株) セガゲームス
 (株) セカンドセレクション
 セコム(株)
 ソニー(株)
 (株) ソフトウェアコントロール
 (一財) ソフトウェア情報センター
 特許・情報センター
 ソフトバンク(株)

【た行】

チームラボ(株)
 (株) 中電シーティーアイ
 (一社) 中部産業連盟
 中部電力(株)
 通研電気工業(株)
 デジタルプロセス(株)
 鉄道情報システム(株)
 (公財) 鉄道総合技術研究所
 (公財) 電気通信普及財団
 (一社) 電子情報技術産業協会
 (株) 電盛社
 (株) デンソー
 (株) デンソー (東京)
 (株) デンソー IT ソリューションズ
 (株) デンソーアイティラボラトリ
 (株) デンソークリエイティブ
 (一財) 電力中央研究所
 東海ソフト(株)
 東海旅客鉄道(株)
 東京電力ホールディングス(株)
 (株) 東芝
 東芝インフォメーションシステムズ
 (株)
 東芝システムテクノロジー(株)
 東芝情報システム(株)
 東芝デジタルソリューションズ(株)
 東芝マイクロエレクトロニクス(株)
 (株) 東和システム
 トーヨー企画(株)
 特許庁
 (株) トヨタコミュニケーションシ
 テム
 トヨタ自動車(株)
 (株) 豊田中央研究所
 (株) トヨタデジタルクルーズ
 (株) ドリコム
 トレンドマイクロ(株)
 (株) ドワンゴ

【な行】

(株) ナレッジクリエーションテク
 ロジー
 (株) ニコンシステム
 日立日立システムエンジニアリング
 (株)
 日本アルゴリズム(株)
 (一財) 日本データ通信協会
 日本電気(株)
 (株) 日本電気特許技術情報セン
 ター
 日本アイ・ビー・エム(株)
 (公社) 日本化学会
 日本銀行
 国立研究開発法人 日本原子力研
 究開発機構
 日本システム開発(株)
 日本証券テクノロジー(株)
 (一財) 日本情報経済社会推進協会
 (一社) 日本情報システム・ユーザ
 協会
 日本電子計算(株)
 日本電信電話(株)
 (一財) 日本品質保証機構
 日本放送協会 放送技術研究所
 日本マイクロソフト(株)
 日本無線(株)
 日本ユニシス(株)
 (株) 野村総合研究所

【は行】

パーソルキャリア(株)
 (株) ハイエレコン
 パイオニア(株)
 (有) バクサリー
 パナソニック(株)
 パナソニック(株) エコソリューション
 ズ社
 バルテス(株)
 (株) ビービット
 (株) ビズリーチ
 (株) 日立公共システム
 (株) 日立国際電気
 (株) 日立産業制御ソリューション
 ズ
 (株) 日立システムズ
 (株) 日立製作所
 (株) 日立製作所 中国支社
 (株) 日立ソリューションズ
 (株) 日立ソリューションズ・クリエ
 イト
 (株) 日立ソリューションズ西日本
 (株) 日立ソリューションズ東日本
 (株) 日立テクニカルコミュニケー
 ションズ
 (株) ビッグツリーテクノロジー&コ
 ンサルティング
 (株) ファースト
 フェアリーデバイズ(株)

(株)フォーカスシステムズ
 (株)フォーラムエイト
 富士通(株)
 (株)富士通アドバンスドエンジニアリング
 (株)富士通エフサス
 (株)富士通九州システムズ
 (株)富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ
 富士フィルム(株)
 フューチャーアーキテクト(株)
 古野電気(株)
 (株)プロトコーポレーション
 北陸コンピュータ・サービス(株)
 (株)堀場製作所
 (株)本田技術研究所R&DセンターX

【ま行】

マツダ(株)
 三井情報(株)

(株)ミックナイン
 (株)ミットヨ
 (株)三菱UFJ銀行
 (株)三菱UFJトラスト投資工学研究所
 三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)
 三菱スペース・ソフトウェア(株)
 三菱電機(株)
 三菱電機インフォメーションシステムズ(株)
 三菱電機インフォメーションネットワーク(株)
 三菱電機コントロールソフトウェア(株)
 三菱電機メカトロニクスソフトウェア(株)
 三菱プレシジョン(株)
 武蔵野美術大学
 (株)メイテツコム
 モバイルコンピューティング推進コンソーシアム(MCPC)

【や行】

ヤフー(株) Yahoo! JAPAN 研究所
 ヤマハ(株)

【ら行】

楽天(株)
 リードエグジビジョンジャパン(株)
 (株)リクルートホールディングス
 (株)リコー
 (株)リナックス総合研究所
 (株)両備システムズ
 (株)リンクレア
 (株)レコチョコク

<入会予定>
 アドソル日進(株)
 (株)数理計画
 (株)チェンジ
 デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム(株)
 (株)デジタルガレージ
 (一財)日本規格協会

注) 一般社団法人・一般財団法人・公益社団法人・公益財団法人はそれぞれ(一社)・(一財)・(公社)・(公財)と省略した。

協力協定学会との正会員会費相互割引について

各学協会との協定により、正会員会費が割引になります。ぜひ、ご活用ください。
 本会 Web ページ (<https://www.ipsj.or.jp/member/kyoryoku.html>) にも掲載しております。

●協力協定学会名・相互割引率(正会員会費が割引対象)

IEEE	(The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.)	10%
IEEE-CS	(IEEE Computer Society)	10%
ACM	(Association for Computing Machinery)	20%
CSI	(Computer Society of India)	20%

※協力協定学会の会員費割引については、海外関連団体 (https://www.ipsj.or.jp/annai/kanrenlink/os_relation.html) をご参照いただき、直接お問い合わせください。

●本会への申請方法

会費割引を希望する正会員は、次のフォームから申請してください。8月以降の申請は次年度会費を割引します。
 正会員会費割引申請フォーム (<https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-seikaiin-kaihiwaribiki.html>)
 初めて申請する方は上記協力協定各学会正会員の会員証コピーをFax等で送ってください。割引適用は1学会分といたします。
 ※これから入会を希望する方も同様に申請できます。個人会員の入会方法 (https://www.ipsj.or.jp/nyukai_kojin.html) から、入会申込書【正会員】をご確認ください。

■照会先：会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8370 Fax(03)3518-8375